（別紙１）本シートは平成32年5月以降に学内外へ公表されます。

平成３１年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	石川　千恵	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成３１年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成３１年度　年度末自己点検結果
教育・学生支援	0.10	今年度（2019年6月1日～10月31日）のジェンダー協働推進室による研究活動等支援員配置制度の利用が認められたので、今後、大学院生を支援員として受け入れる予定である。支援員自身の研究活動にも活かせるような実験指導に取り組む。	0.00	研究活動等支援員配置制度を利用し、学部生１名と大学院生１名を支援員として受け入れた。支援員に対して、大型機器の操作法を含め、細胞培養実験や生化学実験の基本的な指導を行った。大学院生は大学院を終了し、民間企業に就職した。
研究	0.60	ウイルスによる発がん機構や造血器腫瘍の発症・進展機構の解明及びそれに基づく治療法や発症予防法の開発に関する研究を推進させる。また、国内外の研究者や企業との共同研究をおこなう。研究成果を関連する学術誌や学会で発表する。現在獲得している基盤研究Cの研究に注力するとともに、引き続き外部資金の獲得に努める。	0.00	目標設定にある研究を推進した。その結果、筆頭著者として1篇の論文が国際的学術誌に掲載された。現在、3篇の論文を学術誌に投稿中であり、1篇の論文を作成中である。また、関連学会において、共同演者として4件の研究発表を行った。
社会貢献	0.10	論文査読を通して研究領域の発展に貢献する。地域の医療機関の要請に応えて、乳幼児健診や小児医療に従事し、地域医療に貢献する。	0.00	国際的医学雑誌Evidence-Based complementary and Alternative Medicineの編集委員を担当した。地域の医療機関の要請に応えて、乳幼児健診や小児救急医療に従事し、地域医療に貢献した。
管理運営	0.20	研究基盤センター併任教員として、管理運営に貢献する。	0.00	研究基盤センターの管理・運営に携わった。共用機器運用ワーキンググループに参加し、共用機器の運用に関する業務を行った。また、おきなわオープンファシリティネットワーク(OoPNet)ワークショップ及び施設見学会の開催に関わった。
	0.00		0.00	
計	1.00		0.00	

※当該シート（表）の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください（プルダウン選択式）

☐ 学外公表に同意しない。　☐ 学内外公表に同意しない。